

# 犬の石けん処方士タイムズ

処方士  
コラム

## 「喉元過ぎれば花粉忘れる!？」

三重県 森山由子  
Facebookページ「イフの森」  
vanmori22@gmail.com

冬が終わる頃、そろそろ始まるなあ～と思いつつ春を迎えます。それは暖かくなり植物たちが動き出し、外出も楽しみになるというようなことでなく、私にとっては花粉症の季節の到来です!

毎年毎年、花粉症の方はみなさんそうだと思いますが、1～2ヶ月は不調続き、鼻水、鼻づまり、目や喉のかゆみなどなど。ひどくなるとポーッと熱っぽくなることも。で、こんなに苦しいのは今年で終わりにしたい!と毎年毎年思うわけです。

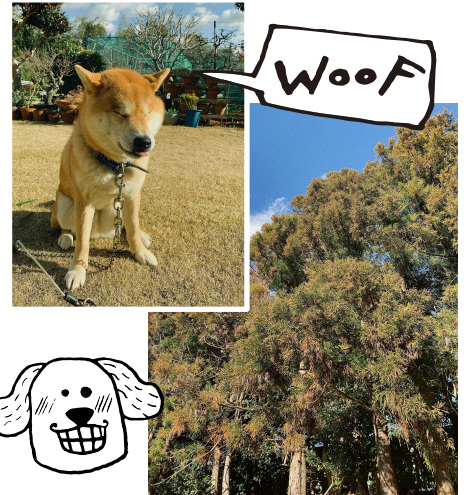
楽しい春の訪れを感じに外へ繰り出したいし、犬たちともあちこち歩きまわりたい。ところが一歩でるとくしゃみ、鼻水、かゆみに痛みなどの症状が出ます。私の場合は特に喉が痒くなり、ひどい時は舌から喉までザラザラになる炎症が出ます。対処療法はいろいろあるので、サプリを取り入れたり、ハーブティーを飲んだり、セリシン液\*を使ったり、精油で気持ちを和らげたりと気分に応じてやってみます。食べ物も、食べると痒みと咳が増してしまう甘いものは控えます。

それでもやっぱり犬の散歩はちょこっとにして、あの公園に行きたかったけどやめとこう、となります。長く外にいればいるほど帰宅してからの症状がひどくなるからです。犬たちにとっては、え!もう終わり?って思ってるかもしれませんが、ごめんね～と思えますが、我が家の犬たちは文句を言いません。ありがとね～と感謝しています。

そして人だけでなく犬にも花粉症があるとのこと。散歩は花粉のつきにくい生地のお洋服を着せたり、帰宅したら被毛をブラッシングしたり、足の汚れはお水で洗い流したりします。シャンプーの際はさらっとした洗いがりの手作り石けんがいいでしょう。犬の場合は先端に症状が現れることが多いらしく、耳を痒がる、肉球を舐めているなど、いつもの季節と違う行動をしたら獣医さんに見てもらいましょう。

幸い私が今まで関わった犬たちには花粉症はなかったのですが、人も犬も花粉症の期間は長く、数年、もしくは一生?続きます。こんな辛さは今年で終わりにしよう!って今年も思うんだらうなあ、そして春が終わる頃、

花粉症も終わり、また喉元過ぎれば花粉忘れる!?となるのでしょうか……



\*セリシン液: 歯から抽出したたんぱく質の一種の美容成分。抗酸作用、保湿作用などから犬の被毛スプレーなどを作ったりもする。

0歳児の孫の面倒をみています。その中で、言葉を発することができない人間の赤ちゃんや犬のコミュニケーション手段は泣く、犬は吠える、そして身体での表現です。そのためこちらが状況を判断しなければなりません。適切な判断のためには普段の様子を注視する必要があるのは犬も人間の赤ちゃんも一緒だと思ったのです。孫が高熱を出したときのことを振り返ると、早くに気づいていたら?という思いをしました。また、離乳食で甘味のある果物を口に運ぶと足をブラブラさせながら万歳をし、身体全部で喜びます。こんなにも嬉しいのか!と気づき、その嬉しい時に、こちらが名前を言う手を挙げるしぐさを見せ、果物のご褒美をあげる、を繰り返してみたところ、すぐにできるようになりました。犬もトイレの躰や、お座り、マテ、ヨシ、などご褒美をあげながらしつけます。経年や犬との信頼関係がしっかり作れるとご褒美がなくてもできるようになりますが、最初はご褒美は必須だと思います。

犬はボディーランゲージやカーミングシグナルが言葉のかわりなので飼い主はそれを理解することも大事です。赤ちゃんをケガや誤飲誤食がないようにとサークルの中に入れてたり、ベルトのついた椅子に座らせたりするのは一般的に行われています。しかし制限する回数や時間が多くなる程、成長の早い赤ちゃんにとって良いのか?大人の都合を優先しているのでは?と疑問も覚えました。そのような思いの中、言葉を発しない犬も人間の赤ちゃんも飼い主あるいは大人のされる側、つまり受け身であることを忘れてはならないと思いました。

犬の石けん処方士の  
wan!ダブル  
wan!デイ

言葉を  
つかえない者  
とのくらし



愛媛県 大塚 陽子  
愛媛松山手作り石けん&  
メディカルハーブ教室

<https://blue-blue-blue.amebaownd.com>  
ishiburo376.3361@gmail.com



## とつけき 第3回 となりのワンぐるめ

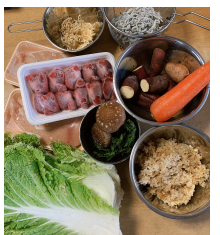
おじや: 玄米編

<材料>  
玄米ご飯 1 合分、鶏モモ肉 2 切れ  
砂肝

- A) 人参、サツマイモなど
- B) 白菜、キャベツなど
- C) 切り干し大根、シイタケ  
アオサ、シラス干  
生姜パウダー、鰹節

<作り方>

- ①玄米ご飯と水800ccを入れ中火にかける。Aの根菜を入れ蓋をして弱火で15分煮る。
- ②Bの葉野菜、Cの材料、シラス干は水出しをして入れる。水分が足りないようなら足す。
- ③鶏モモ肉、砂肝を薄切りにして入れ、蓋をして10分ほど煮る。あげるときに鰹節を。



玄米おじやは野菜を切る間も火にかけたままにします。1回の食量量は、それぞれの犬のサイズに合わせてください。

森山由子

# Dog's Soap Prescriber Times

## いざという時のために備えておきたい！「ペット用防災グッズ」

近年は災害が多く、被害状況をニュースで目にするたびに心が痛みます。私も熊本地震による震度7の揺れで、家や倉庫が被害に遭いました。その日から昼間は家の片付け、夜は犬達と車中泊という生活が約一ヶ月続きました。大きな揺れが収まり、急いで避難しなければいけない状況下で、取り急ぎ必要なものを車に積み込み、車中で余震に震えながら一夜を明かしました。その後、避難所が開設されましたが、当時ペットは連れて行けませんでした。徐々に犬や猫と一緒に連れて行ける避難所も増えてきましたが、多頭飼いの我が家は他の方に迷惑をかけてしまうと思い、やはり行くことはできませんでした。そんな経験から人用はもちろん、犬用の防災グッズも準備しておく必要性を強く感じました。トイレシートやタオル、フード、水といった日常の必需品のほか、水がなくシャンプーができない時に

拭くだけでシャンプー代わりになるウェットシートや場所をとらない折りたためる容器も便利です。また、犬達にストレスがたまらないように遊ぶおもちゃもあるのですが、避難所では音が出ると周りに迷惑をかけてしまいます。そんな時はサイレント動物TOYがオススメです。このおもちゃの音は人間には聞こえない周波数なのですが、犬には聞こえるというものです。これだと他の人と一緒でも気兼ねなく遊ばせることができます。他にも必要なものは沢山あると思いますが、犬や猫にあったものを揃えてあげて欲しいと思います。我が家の犬達も地震後はだいぶ神経質になったように感じます。災害に遭うと人も心の余裕がなくなりますが、できるだけいつもと変わらず生活できるように環境を整えて、犬や猫のストレスを和らげてあげたいと思います。そのために常日頃から突然襲ってくる様々な災害への備えをしっかりとっておきたいものです。

熊本県 緒方 優佳  
アロマと手作り石けん教室 風香  
https://a-fuuka.com  
yuka223-ogata@ezweb.ne.jp



ペットにやさしいシャンプータオル



## 今、ペット防災に備える！！

## タッチングでメンタルケアを



沖縄県 岩田 うみ  
手作り石けんとペットケアの教室 りゅつか沖縄  
https://sekken.okinawa/  
lycka.fagel.bla@gmail.com

遠く離れたトンガの海底火山が噴火しました。火山噴火による津波で備えるのは国内の災害だけではないことがわかり、いざというとき慌てないために自分ができることを考え、知り、日頃から防災対策を実践することが大切だとあらためて痛感したばかりです。避難所や車中泊暮らしに備えて、食べ慣れているフード以外に環境変化によるストレスでお水を飲まなくなることも考え、水分補充の代わりになるウェットフードやウェットタイプのおやつを備蓄していますが、我が家のマルプーはドライフード一点張りウエットタイプのフードやおやつ（手作りも市販も全て）を受け付けず、どれなら、どうしたら食べるのか試行錯誤の真っ最中です。毎食手作りごはんの犬には、市販のドライフードやパウチのウエットフードも食べられるよう、手作りごはんの中に少量のドライフードを混ぜたり、朝は市販のフード、夜は手作りごはん等、日頃から慣れさせておくことも大切です。自治体から配布されているハザードマップで自宅の被害予想や避難経路、避難場所など事前に確認しておくこと、当然のことですが、首輪やハーネスに犬鑑札、狂犬病予防注射済票、迷子札は必ず付けてください。車のガソリンを常に満タンにしておくこともお忘れなく。

自律神経を整えたり、ストレスを軽減したり、免疫力を上げたりなどの作用をもたらす脳の下垂体から分泌される幸せホルモン「オキシトシン」で心穏やかな時間を。一番簡単ですぐ出来るタッチングをご紹介します。

- ①手の平全体をワンちゃんの体に軽く当てるように添え、ワンちゃんの呼吸を感じます。
- ②自分自身の呼吸もワンちゃんの呼吸に合わせていきます。
- ③お互いの呼吸が自然に合ってきたら、自分自身の呼吸に意識を集中させ、深い呼吸を繰り返します。
- ④深い呼吸を何度か繰り返したら、次は呼

吸には意識を向けず、頭の中を空っぽにしてワンちゃんの暖かさを感じながら「今、この子とここに居る」という現実だけを感じましょう。今日も大好きな愛犬と一緒に時間をおくれたことに感謝しながら、優しい心と手で心と心を通い合わせましょう。たったこれだけで犬も人も幸せホルモン「オキシトシン」で満たされます。



処方士タイムズ第3号を発行しました。日本でも地球規模でも災害が増えているように感じる昨今です。ペットの防災について考えていたただける機会になれば幸いです。（由子）

自然災害、ウイルスの脅威にさらされると、地球も生き物で、地球で人間だけが生存しているわけではないことを思い知らされます。（陽子）

コロナ禍の防災対策として十二年ぶりにキャンプを始めました。キャンプの知識は災害時の避難生活にも役立ちます。ペットたちがまずはテントの暮らしに慣れてもらうことを目的に時々キャンプを愉しもうと思えます。（うみ）

災害に関する記事を作成した直後に大分宮崎に震度5、熊本は震度4の地震。しばらくは大きな揺れを警戒し、いつでも避難できるように改めて防災用品のチェックをしました。（優佳）

## 編集後記



犬の石けん処方士タイムズ vol.3

2022年1月31日 発行（通刊3号）

発行人：犬の石けん処方士

編集人：HSA資格制度委員会ペット資格部会  
森山由子、大塚陽子、岩田うみ、緒方優佳

編集：森山由子、大塚陽子、岩田うみ、緒方優佳

発行：一般社団法人ハンドメイド石けん協会  
〒143-0023 東京都大田区山王2-12-6

TEL.03-6303-8859

member@sekken.info

https://www.sekken.info

